

令和5年度第4回市民協働によるまちづくり推進協議会内容

日時 令和5年11月30日(木)

19:00~21:10

場所 市役所402会議室

委員 10名出席

- 会議の目的
- ・令和6年度からの区運営費交付金の見直しについて(説明)
 - ・前回協議の振り返りと広域自治の研究

1. 開会

2. 会長挨拶

3. その他(連絡事項)

- ・中川委員は、委嘱から任命へと変更

- ・パートナーシップ事業補助金報告

交付決定…放課後こどもチャレンジ教室実行委員会

実績報告…WRO Japan 静岡県裾野地区公認予選会実行委員会

コミュニティキッチンわいち

- ・市民まちづくり講座×元気な地域づくり研究会

12月9日(土) 10:00~12:00 生涯学習センター学習室I

一社おたまちゃん食堂 代表理事 押田智子氏

- ・地域づくり講演会

12月19日(火) 9:30~ 市役所401会議室

東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤氏

- ・市民活動の集い

1月28日(土) 13:30~ 生涯学習センター

社会教育士 市川重彦氏

4. 令和6年度からの区運営費交付金の見直しについて

行政から第2次市民協働によるまちづくり推進計画との整合や見直し内容について説明後、委員質疑

5. 前回協議の振り返りと広域自治の研究

行政から前回協議内容、第2次市民協働によるまちづくり推進計画記載内容、区長アンケート(暫定)、地域運営組織に関する調査(総務省)をもとに説明後、委員協議

【以下、地域運営組織に関する委員意見】

○整理すべき事項

- ・できることとできないことは、自治会の規模によっても違う
- ・自治会が母体になるしかないのではないか
- ・校区の役割・イベントが既にある
 - この見直しもセット（負担を感じている？）
- ・コミュニティスクール・小規模多機能自治等の枠組みも学校区だが、範囲が被っており、整合をとる必要があるのではないか
 - 国レベルでどのような制度があるか整理を
- ・現状から未来の困りごとを想像する
- ・エリアでなくて、ソフト（機能）の単位で括っていくのもよいのではないか
- ・区の課題が分からなければ、RMO はできない（話し合いの場づくりを→そもそも出てこないものと考え、来る人のイメージを）
- ・区の単位でできない事業化ができるのではないか（人件費も措置される）
- ・行政が縦割りで同じことを違う課でやっているのではないか
- ・区民有志組織の内訳と活動内容

○人材発掘

- ・個人レベルだと快適な生活を知っているが…そういう人が移住することもあり難しいと思う
- ・手伝えないけど、関わりたい人が多い（例：PTA）
- ・子供が大きくなるに連れて地域とのつながりが薄くなる
 - 情報は欲しいが、負担は負いたくない
- ・現役世代が、地域づくりの必要性に気が付くチャンスではないか

○地域の現状

- ・困っている高齢者が地域にいるのは確か、だが日中は高齢者しかいない
 - 元気な高齢者が支えている
- ・狭域で困っていれば、広域で支えなければ成り立たない
- ・高齢者が少ない区からの応援もあり得る
- ・区の動きを促さないといけない、働きかける（仲間に引き入れる）
- ・中学校で実施していた事業が、市の事業に変わり堅苦しい事業になった

6. 閉会（森川会長から差し入れがあった）